

## 平成19年度修士論文題目一覧

日本社会文化専攻

修 士 論 文 題 目
弥生土器からみた地域性—北部九州弥生時代中期を中心に—
ザ・ブルー・ハーブと聴衆の〈労働観・生き方〉 —1998年以降のヒップホップ観をめぐって—
近世中後期における柳河藩奥方組織の研究
森鷗外「蛇」論
遠藤周作における歴史小説創作の意味 —『王国への道 山田長政』から—
頭蓋形態小変異の出現頻度に基づく安陽殷墟王陵区出土人骨の人類学的研究
「和協」の変容 —第一次広田外交の再検討—
日中両言語における新語の諸相
日本語の受身表現と中国語の被动表現について —間接受身を中心に—
若い男性の話し方の特徴 —九州大学農学部の一研究室の会話例を中心に—
マンガにおける作者表象の系譜
日本における〈性暴力〉概念の誕生 —ラディカル・フェミニズムとウーマン・リブをめぐって
横光利一「上海」と茅盾「子夜」の対比研究
近世「日本人」における言説としての被我認識
日本語学習における真偽判断のモダリティの習得について —中国語母語話者を対象として—
「～テクル」「～テイク」と「起来」「下来」「下去」の対照研究 ——本動詞からアスペクト表現への意味拡張・文法化を中心に——
「～てくれる」に先行する動詞の習得について —中国語母語話者に焦点をあてて—
日・韓談話スタイルにおける「あいづち」の基礎的研究
「サークル村」における炭鉱労働者作家の研究
日本語の「シテイル」とそれに対応する中国語の形式に関する基礎的研究
椎名麟三の思想 —道化師の修練としての「ユーモア」—
高浜虚子『俳諧師』『朝鮮』における花鳥諷詠
アオウミガメ <i>Chelonia mydas</i> のDNA解析
日本語母語話者の会話における笑いの機能について —大学生の二者会話に着目して—
高等学校における経済教育の日中比較 —公民的資質の養成を中心に—
福岡市における保育サービス需給の地域的差異に関する研究
中央ユーラシア東端における青銅器時代後期の様相
福岡県における託児所付き日本語教室が担う新たな役割 —非日本語母語話者を親に持つ乳幼児に支援できること—
近世の宿と湊 —筑前国遠賀郡黒崎宿を中心に—
実際の会話場面における『から』と『ので』の使い分けに関する研究
始動局面を表す動詞の形式の基礎研究 —「～かける」「～はじめる」「～だす」について—
北部九州弥生時代における木工活動の変遷とその背景

国際社会文化専攻

修 士 論 文 題 目
中国の啓蒙思想家 —梁啓超の「自由」「民権」思想の受容状況について
権力論 —事例研究のための理論的予備考察
現代日本人気マンガに描かれた外国人ステレオタイプ —送り手研究を中心に
韓国における「日本の歴史教科書問題」の形成
動詞の意味拡張 -日本語の「おく」と韓国語の「두다」「놓다」-
韓国における日韓国際結婚について —文化的葛藤および適応を中心に—
氷期サイクル年代による過去三百万年間の地球磁場の研究
Classification of the genus Phorticella (Diptera, Drosophilidae)
A Survey on Pragmatic Failure in English as a Foreign Language: A Case study on Interlanguage Pragmatic Competence of Japanese University Students in EFL
長崎における遣日全権大使 N.P.レザノフの交渉とその影響について —帝政ロシアの東方政策と世界周航を背景に—
深海底コアを用いたインド洋モンスーン地域の第四紀大気ダイナミクスの復元 —石灰質ナノ化石量と窒素・炭素同位体比の変動解析からのアプローチ—
山口県民の「戦犯」親と岸信介の政界復帰